

東城自治振興区だより

第135号
令和6年5月5日発行

東城自治振興区 庄原市東城町川東1188-2 TEL/FAX 08477-2-0487
ホームページ <http://tojyo-apd.main.jp/> メール tojyo@aioros.ocn.ne.jp

公式LINE
@293ucjcc



令和6年度東城自治振興区総代会

4月26日（金）に、東城自治振興センター研修室において、令和6年度東城自治振興区総代会を開催しました。

議長に川西下自治会の小谷雅之総代が選ばれ、総代定数（45名）の過半数を超える23名と役職員26名が出席し、総代会の成立宣言を受けて開会しました。

総代会への提案議案は、令和6年度の事業計画や収支予算など8議案でしたが、いずれも賛成多数で提案どおり承認されました。

今年度は宮平団地地区の任期満了に伴う役員の改正で、別掲のように各役員が選任されました。

また、下町自治会は4月をもって解散されました。東城自治振興区への復活の後押しに、今後も取り組んでいきます。

令和6年度役員一覧

会長	赤木 初男	副会長	松木 茂穂 杉 憲治 伊藤 ゆかり
幹事	原田 敬史 酒井 康博 寺岡 直輝 名越 輝二 齊藤 健 沖野 豊 藤原 和馬 西口 英樹 長尾 昭法	小坂 嘉子 横山 淳子 中原 弘子 山本美智子 落合 裕子 森下 優子 木野谷幸子 西口 詩恵 清水 悦子	（川西上） （川西下） （宮平団地） （上町） （東城中町） （東町） （川東） （戸宇） （福代）
生涯学習委員長	遠藤 康治		
監事	小林 正和 〃 小山 勝彦 〃 未定	（上町） （中町）	



令和6年度の予算内訳と主な事業計画

【自治振興事業】

予算総額 26,773千円

財源内訳 (市交付金) 20,884千円、(社保負担金等) 2,844千円、(繰越金) 3,045千円

主な事業 ①自治振興区の管理、運営事業

②自治会との連携・協働、支援事業

③「お隣さん運動」推進事業

④木の駅プロジェクト推進事業

⑤地域振興及び親睦事業

(クリーン作戦、健康ハイキング、グラウンドゴルフ大会、自治振興区まつり他)

【東城自治振興センター管理事業】

予算総額 7,896千円

財源内訳 (庄原市指定管理料) 6,314千円、(利用料収入等) 511千円、(繰越金) 1,071千円

主な事業 ①東城自治振興センターの適正な管理・運営

(東城自治振興センターの年間利用見込数 18,550人)

【東城文化ホール運営事業】

予算総額 16,800千円

財源内訳 (委託料) 12,841千円、

(利用料収入) 150千円、(チケット収入等) 1,434千円、(繰越金) 2,375千円

主な事業 ①東城文化ホールの管理・運営事業

②地域の文化・芸術の振興に貢献する事業の実施

- ・ 6月15日 映画上映会「お終活 熟春！人生、百年時代の過ごし方」
 - ・ 8月 4日 神楽まつり (イベント名未定)
 - ・ 8月中旬 夏休み子ども映画劇場
 - ・ 10月19日 ふれあいステージ
 - ・ 1月19日 東城ミュージックコンサート
 - ・ 3月 1日 東城自治振興区まつり発表会
- ・・・その他

【生涯学習活動委託事業】

予算総額 1,913千円

財源内訳 (委託料) 1,555千円、(負担金等) 11千円、(繰越金) 347千円

主な事業 ①住民の自主的かつ自発的に行う学習支援と活動機会の提供事業

②東城自治振興区登録の生涯学習教室・団体との連携、協働による

豊かで住みよい地域づくり推進事業

(ふるさと今昔講座・しごんば隊・ウーマンカレッジ等の活動支援、東城元気塾、みのりの体験プロジェクト事業他)

ふるさと今昔講座～第1回講座～

ふるさと今昔講座を4月9日(火)東城自治振興センターにおいて開催しました。ふるさと今昔講座の総会の後、元広島県教育事業団埋蔵文化財調査室の伊藤実先生から「大迫山古墳の銅鏡と三角縁神獣鏡」と題して講演をいただきました。

講座では、『中国の銅鏡は、人の姿を映す「姿見」だけでなく「魔除け」や「結婚のしるし」「政権のプロパガンダ(宣伝)」などにも使われていたこと、そしてその銅鏡は倭(日本)でも、物を映す映像の道具と呪力を持つまじないの道具という2つの機能を持っていた、という重要な物品』であること、さらにそのような意味を持つ銅鏡が東城町からも出土していることについて詳しく教えていただきました。驚く

ことに、東城町大迫山古墳から出土した中国製の銅鏡である「獣首鏡」は、卑弥呼が魏からもらったとされている「三角縁神獣鏡」と関係があることを説明いただきました。邪馬台国の時代の200年から270年頃に作られ日本に伝来した中国鏡は、「獣首鏡」「画像鏡」「神獣鏡」の3つで、そのうちの1つ「獣首鏡」が東城の大迫山古墳から出土しています(中国・四川省周辺で製造か)。これは卑弥呼が魏からもらったとされている「三角縁神獣鏡」と同時期に製造されたと考えられています。さらに、近年の発掘調査結果などから中国地方近辺の銅鏡の出土状況を教えていただき、大迫山古墳の重要性を示していただきました。東城の大迫山古墳は日本最古の前方後円墳(卑弥呼の墓の有力候補)の箸墓古墳(全長280m)と相似しており、約6分の1の大きさとなっています。銅鏡の出土なども踏まえた日本最古の前方後円墳との関係から、東城盆地がヤマト政権にとって地政学的に重要な場所であったことを再認識できました。

出雲や吉備とのつながりのあるこの東城の地が、どのように重要だったかを具体的に示すことができる研究が進んでいます。これからも講座で解明できればと思いました。また、実物の銅鏡等を持参いただき実際に手に取るなど、古代の鏡について内容に深まりのある講座となり、皆さんとても熱心に受講されました。

今昔講座会員 高木 保



ウーマンカレッジ～開校式・総会～

4月22日(月)、センターの八重桜の花がまだ少し残る頃、令和6年度のウーマンカレッジ開校式と総会が行われ、27名の会員の皆さんが出席されました。

総会終了後は、東城町在住の5名で構成された女性ユニット「プリランテ」さんの演奏を聴かせていただきました。美しい演奏と代表の五十嵐さんの穏やかな進行も相まって、会員の皆さんは豊かで充実した音楽鑑賞を楽しまれました。最後には、演歌を織り交ぜた懐かしの曲や定番の「ふるさと」の大合唱で楽しい時間を共有し、そして心新たに「心も体も元気に生き活きと自分らしく暮らそう」と新年度に向かった皆さんでした。(K)



行事名	とき	5月からの行事内容
ふるさと今昔講座 (講座は会員以外でも受講できます)	5月14日(火) 13:30~	・第2回講座 郷土の歴史と文化 「中村慎吾先生の残された功績」 講師 進藤 眞基先生 会場 東城自治振興センター 研修室
ウーマンカレッジ	5月20日(月) 8:45集合	・全体行事「インドのお話を聞こう」 講師 元田 玲香先生 会場 東城自治振興センター 研修室 参加費 500円
しごんぼ隊	令和6年度 しごんぼ隊員を募集します 年会費:1,000円 対象:東城小学校児童 申込用紙は東城小学校にて配布します	
山の子会	山の子会会員を募集します 年会費:無料 対象:東城町近隣の方 入会を希望される方は「活動についてのアンケート」用紙へご記入ください アンケート用紙は東城自治振興センター事務局にあります	

東城まちなみ 春まつり 上町茶屋

上町自治会

今年も上町自治会のまちなみ振興部が、4月6日から8日までの3日間『東城まちなみ春まつり』に協賛し、上町茶屋を開店しました。

寒さで例年より開花の遅れていた桜のつぼみも綻び、天気は晴天。訪れた観光客など大勢の人々が、東城の桜と街並み、各所に展示されたひな人形を楽しめました。

上町茶屋では、うどん・いなり寿司・ぜんざいの販売を行い、手作りの和紙ちぎり絵が茶屋の壁や和室に展示され、お越しいただいた方に楽しんでいただきました。また、会員同士やお客様との交流も盛んに行われていました。

また来年の春も、皆様のお越しをお待ちしております。



情報をお寄せいただきありがとうございました。
 今年度も、東城自治振興区では皆様からお寄せいただいた自治会行事等の情報をもとに、振興区たよりの紙面に掲載していきます。
 皆様のご協力をお待ちしております。

